

## 新本館 A 棟 7 月 31 日完成

# 高規格治療フロアとして 全面的にリニューアル

社会医療法人近森会  
診療支援部部长 寺田 文彦



### 概要

平成 22 年 (2012) より開始された、「近森病院全面増改築 5 カ年計画」も終盤を迎え、地上 13 階建ての新本館が 7 月 31 日に完成します。

高齢化による重症で合併症を伴う患者さんに対応することができる高規格治療フロアとするために、全面的なリニューアルとなりました。加えて近い将来予測される東南海地震を考慮し、災害拠点病院としての使命を果たすために、建物全体を支える免震機能を備えました。3 階で外来センターと通路橋でつながり、自由に行き来することができるようになります。

### フロア紹介 1～4 階

建物の名称は既存の本館と合わせて「近森病院本館」とし、フロアの呼称を西から A・B・C 棟として分かりやすいサインで院内の案内をしています。1 階フロアは救命救急センターの面積が 4 倍に拡張され、重症患者の受け入れをスムーズに行われるよう、救急車搬入窓口が A 棟南西側の「救急車専用入口」に移動しました。外来ベッドを増やし、救急患者さんの受け入れ体制をより充実させました。

2 階フロアは手術室で現在の 7 室から 11 室へ増設されます。ハイブリッド手術室など新しい機器も導入され、高度な外科手術の充実がはかられています。

3 階はすべて検査フロアとし、中央

採血室や生理検査室、脳波・筋電図室、輸血検査室、IVR 室を設置、高度な血管内治療にも対応しています。同じく 3 階には B 棟に血管造影室、C 棟に内視鏡センターがあります。

4 階フロアは重症患者さんが入る集中系病棟とし、A 棟が ICU 病棟、B 棟が救命救急病棟、C 棟が HCU 病棟となり、手術や特殊処置などが必要な重症患者さんの増加に対応できることとなりました。

### フロア紹介 5～13 階

5 階から 8 階は一般病棟で個室と 4 人床の部屋を中心としています。5、6 階病棟には内科、7 階病棟に整形外科、8 階病棟に外科、形成外科、泌尿器科、透析科などが入ります。9 階はリハビリ訓練室が配置され、増加する早期リハビリに対応しています。

10 階は医療機器のメンテナンスを行う ME センターを移設し、フロアを拡大するとともに資機材を保管する倉庫を増設しています。また電子カルテなど重要な医療情報を確保するイントラネットの強化を行いサーバ室を免震構造で守っています。

11～13 階部分には自家発電や空調設備などの機械室を設置、災害時の病院運営を維持するため従来の 3、4 倍の設備を整備しました。

屋上はヘリポートで、県内であれば 15～30 分以内の飛行時間で受入れが可能となります。これまで救急搬送に時間がかかっていた地域からも広域

### A 棟新本館のフロア

屋上	ヘリポート
11～13 階	自家発電設備など
10 階	ME センター、倉庫
9 階	リハビリ室、会議室
5～8 階	一般病棟
4 階	ICU 病棟
3 階	生理検査室、 中央採血室、IVR-CT 室
2 階	手術室 (合計 11 室)
1 階	救命救急センター

での搬送が可能となり、各医療機関にも積極的にご利用いただければと思います。

### 今後の医療体制

A 棟は重要な機能が集中した高規格な建物です。今後もかかりつけの先生方や地域の医療機関、行政機関などとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、災害拠点病院としての使命を、2,000 名の職員とともに果たしていけるよう努力してまいります。これからもご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

2 年近くの建設工事期間、患者さんやそのご家族、近隣住民の方々、工事に携わっていただいた各種業者さんなど、ご協力を深く感謝します。

てらだ ふみひこ

## ツ・ラ・ナ・ル!?

近森病院臨床栄養部

科長 佐藤 亮介

当部署では約10年前より、地域の臨床現場における栄養サポートの繁栄と発展を目的に、高知県内の医療、保健施設の管理栄養士・栄養士を対象に、月1回「近森・臨床栄養セミナー」という勉強会を開催しております。

当部署の管理栄養士たちが、持ち回りで講師を務めさせていただき、講義

形式の勉強会を中心に実施してまいりましたが、年々参加者が減少傾向で、今後の継続も危うい状況でした。

そこで、本年からは、ワークショップや、実技講習、ディベートなど、バラエティに富んだ企画を練り直して開催しております。

「参加型」というテーマを掲げ、趣を変えてみた結果、地域の管理栄養士・栄養士はもちろんのこと、学生など教



▲PTの青木さんもいつも参加してくれています

育機関からの参加者も増え、最近では栄養士以外の医療職種の方まで参加してくれるようになりました。

このような草の根の活動がつまり地域との連携を強固にすることも、向こう10年間に実現したい目標のひとつです……。 さとう りょうすけ

## 7月の歳時記

## 朝顔

近森病院 6階 C 病棟看護師

宇田 えりな



朝顔は奈良時代末～平安時代初期に中国から伝わりました。当時は、観賞用ではなく薬用植物として栽培され、下剤や利尿剤、解毒剤として利用されていたそうです。朝だけに花を咲かせ顔を出すことから「朝顔」と名付けられ、「朝の美女」という意味があるそうです。太いツルは生命力を連想させ「勇気とエネルギーの象徴」ともいわれています。忙しい毎日ですが、古くから親しまれ、育てやすい朝顔を昔を思い出しながら育ててみては…?

うだ えりな



絵・総務課広報担当  
公文幸子

■ 6月号1面の訂正とお詫び ■  
「院内カテライブ」

先月号1面に掲載の「院内カテライブ」記事のなかで、ともに頑張るチーム職種に「診療放射線技師」の記述が抜かておりました。関係者の皆さま、失礼いたしました。

小学3、4年生のころ、蝶を集めることに夢中になった。夏休みともなれば、捕虫網を持って野山に出かけ、蝶を追った。捕えた蝶は翅を伸ばしひとつひとつ標本にしていった。標本箱が増えてゆくのが楽しみであった。そんな情熱も歳とともにいつしか薄れ、蝶のことなどすっかり頭から消えてしまっていた。

数年前、NHKで「プータンで幻の蝶を捜す」といったドキュメンタリー番組があった。それを見て、また蝶を追いかけてみたいと思った。そのことを宮崎先生（総合心療センター副センター長）に話すと彼もすっかりその気になり、彼の友人であるM先生も加わって三人で「蝶を見に行くツアー」なるものを企画した。3年前にはギフ蝶を見に大山へ行った。ギフ蝶は関西ではほとんど見ることが出来ない蝶であるが、幸運にもなんとか見ることが出来た。

昨年の夏は、オオムラサキを見に阿蘇まで出かけていった。選んだ場所は、動植物の保護区となっている自然公園である。状況をよく知っている人に案内をしていただき、しばらくその場所で待っていると、どこからかパタパタと羽音をさせながら一匹の蝶が飛んできて、目の前の木に止まり、樹液を吸い

## 私の流儀 3

## 蝶を追いかけて



総合心療センター  
センター長  
みょうじん かずひろ  
明神 和弘

始めた。閉じた翅は薄い草色をしているが、それがゆっくりと拡がってゆく。それに木漏れ日あたり「パァ〜ッ」と紫色のキラメキが拡がる。オオムラサキだ。紫色に白い斑点のコントラストが美しい。さすがだ。国蝶といわれるだけのことはある。長

い時間見とれていたように思う。そろそろ帰ろうと周りに眼をやると、M先生は「離れられん」といい、熱心に動画を撮り続けていた。

その日は近くの温泉宿に泊まり露天風呂でゆっくりと身体を休め、地元の食材を使った食事を楽しみ、地酒なども飲みながらM先生の撮った動画を三人で鑑賞し、蝶談義で盛り上がった。

M先生は家を出るとき、奥様に「何処に行くの?」と聞かれ「蝶を見に行く」と答えると、呆れたような顔をされ「勝手にやって……」と馬鹿にされたこと。世間から見れば「暇な人たち」、「物好き」と思われるかもしれないが、自分たちにとっては素晴らしい時間であったと思っている。



## ● 医療今昔物語 ● 泌尿器科シリーズ 1

# アナログからデジタルへ、 教授は神様でした

近森病院泌尿器科  
主任部長 谷村 正信



▲1987年(昭和62年)、高知大学の4階西病棟ナースステーションにて、向かって左から筆者、小松先生(現:土佐市民病院 副院長)、渡邊先生(現:国立高知病院泌尿器科部長)

「ひろっば」の原稿依頼を受けて、他に適任者がいるでしょうから……、今は忙しいから……、と逃げてばかりいましたが、気が付くと最先任のようでした。とうとうお引き受けすることになりました。今昔物語ということで、「今は昔、土佐の圏の岡豊の地に、ハルン

なるもののコトワリをまねぶ若者がいたそうな……」、ではでは。

私が医者になって丸28年が過ぎました。当時は現在のように、ITの発達もなく、電話はやっとダイヤル式からプッシュホンになった時代、医者になっていちばん初めに持たされたのが、当直用のポケベル(研修医の皆さんは見たことないでしょうね)でした。持たされた時は、やっと医者になった感じがして嬉しかったですが、すぐに指示が出来ないもどかしさがありました。携帯電話を持つようになったのは、それから10年ほどたってからのことです。

当時は、現在のようにインターネットもありません、情報はすべて紙ベースで、教科書が大事な時代でした。簡

単に情報は手に入りませんので分からない疾患が出てきたら、答えることが出来るのは教授ぐらいで、知識イコール経験の時代では、教授はホントに神様でした。

そのころは泌尿器科の良い手術書で日本のものは無く、外国の手術書は高いけど持たざる得ないものでした(大体5万円ぐらいしました、当然すべて英語です)。ちなみに研修医の初任給は日給月給で、一日5000円ちょい、税引き後8万円ぐらいの時代です。学生時代の家庭教師のアルバイトの方が、税金払わない分だけ実入りは良かった時代です。

ではでは、前置きはこれぐらいで、次回より泌尿器科領域の今昔物語を。

たにむら まさのぶ

### ハッスル研修医

## 社会人として3カ月



初期研修医 福島 大

初期研修医1年目、簡単に自己紹介をさせていただきます。生まれも育ちも高知、県外で暮らしたことは浪人生活の半年間だけの26歳です。

4月中旬から医師としての第一歩を近森病院でスタートしはや2カ月半が経ちました。始まったばかりの頃はどこにいても繋がる、でもいつ鳴るかわからないPHSにびくびくしながら生活していましたが、ようやくその生活にも慣れてきました。今まで外科を1カ月半、神経内科を1カ月研修させていただきました。

この2カ月半は本当に分からないことだらけであつという間に過ぎていきました。上級医の先生をはじめ、メディカルの方々にとくさんのことを教えていただきながらの毎日でした。徐々にではありますが患者さんとの接し方、問診の仕方など慣れてきたと思います。

患者さんに如何に病歴について細かくお話ししていただけるか、またそれをうまく聞き出すかが最も重要でかつ困難かを少しずつ実感してきました。これからもより一層のご指導をよろしく願います。

ふくしま だい

## 「長寿手帳」



近森 正幸

最近春に運動会をするようで、近森家にはめずらしく孫が責任リレーに出るといので妻とともに応援に出かけた。運動場の本部席の横に「敬老席」があり、この日影になった特別席の最前列に座ることができたが、高齢者の初心者なので、なんとなく座りごちは悪かった。

2カ月前から毎朝散歩を始めているが、休日にも時間があれば公園や野山をなるべく歩くように心がけている。先日、高知県立牧野植物園に行つたと

き、入場券売場に小さな字で「長寿手帳持参者には入場料無料」と書かれているのを発見した。年金や保険などの大事な書類はファイルにして仕舞いこんでいる。確かそのファイルのなかにあつたはずだと探してみると、そこに「介護保険被保険者証」と一緒にまさのぶの「長寿手帳」と「老人クラブ入会のお誘い」が入っていた。さっそくわたしも「長寿手帳」を作ってみた。

この前、のいち動物公園は県立なのできつこの「手帳」がつかえるのではないかと、どきどきしながら出かけた。拍子抜けするように「手帳」の提示だけですんなりと公園内に入れたのは感動した。ベンチに座って持参した珈琲を飲んでいると、すぐ傍でお弁当を食べていたおばさん三人組も「長寿手帳」を提示して入っていたようで、「よかったね、また来よう」などとはしゃいでいた。

県や市のプールやスポーツジムも無料で利用できるし、年をとるのも悪くはないなあと思う。

理事長・ちかもり まさゆき

# 高知医療再生機構補助金講演会

▼三豊総合病院循環器科部長の上枝正幸先生

## オメガ ω 3 多価不飽和脂肪酸と心臓病



近森病院心臓血管外科  
部長 入江 博之

5月15日木曜日、三豊総合病院の循環器科部長の上枝正幸先生をお招きして、そのライフワークといわれる「ω



### リレーエッセイ

## 元気になるもの

近森病院売店従業員 橋本 真希

私は食べるのが大好きです！ どんなに元気がなくても、美味しいものを食べると元気がみなぎります。地元は徳島なのですが、高知に来て食材その物の美味しさに感動しました。トマト、カツオ、ナス、ピーマン、生姜、小夏、鮎、文旦など、ホントにいっぱい美味しいものがあります。

大学卒業後、高知の食品会社（近森産業）に就職しました。会社に入ってから、美味しいものをいっぱい食べる機会があり幸せです。就職してから最初に携わらせていただいたのは、高知の美味しい物がたくさん詰ったお弁当作りです。売店でも販売している生姜ご飯のお弁当、タコ飯弁当、土佐のばら寿司弁当

です。何度も何度も試食を繰り返して、お弁当をいっしょに3個も食べたことも。幸せ！（笑）。みんなで一生懸命考えたお弁当です。帯のデザインも考えました♪

やっぱり自分が携わったお弁当は、思いが一倍はいるので買ってもらえると幸せ！ 他の商品も嬉しいですが、食べることは生きることだと思うので、お弁当を食べていただいでみんなが元気になってくれると嬉しいです！ こんなお弁当が欲しいな♪など、ご意見大募集なので気軽にお声掛け下さい。

はしもと まき



3多価不飽和脂肪酸」についてのお話しをうかがいました。

名前は難しいですが、日本人の食生活にはなじみが深く、お魚、とくにイワシやマグロのトロに多く含まれ、動脈硬化を抑制します。冠動脈疾患の死亡率を低下させるだけでなく、インスリン感受性を改善し、糖尿病にも効果が期待出来るそうです。

「EPA」と呼ばれ、最近はTVショッピングでも販売されていますが、エパデルなどといった高純度のお菓でないとい効果は期待できないようです。難しい内容を豊富な図表で判りやすくご説明下さいました。

いりえ ひろゆき

## 和田事務長の 田舎から その4

### 少し遅い初夏に

近森病院総合心療センター  
事務長 和田 廣政

7月 初夏、私の田舎はちょうど田植の季節です。いまは機械化され田植機の音がタンタンと田園に響いています。昔は



▲平野より遅く今がちょうど田植えの時期



▲田舎では季節ごとの果物が。今は小夏

近所のおばちゃん5、6人をお願いして横一線に並び世間話をしながらも手早く植え込んでいく賑やかな田植風景だったことが懐かしい思い出です。子供の仕事は苗の補給で畔からタイミングよく泥はねしないように苗をおばちゃんの前で振り投げることができれば一人前でした。

田舎ではミカン、ビワ、金柑、柿、桃など季節ごとたくさんの果物を家の周辺に植えています。初夏の果物は小夏で自然のままなので大振りで「小夏」と呼ぶには少々太りすぎですが、砂糖で煮込み



ジャムにしてみました。小夏のさわやかな酸っぱさがなかなかいける味です。自家製の玄米パンと合わせていただきました。

わだ ひろまさ



▲小夏ジャムに玄米パンがなかなかいけます

## 近森病院救急救命士による学会発表報告

# 病院に勤務する 救急救命士の取り組み

近森病院救命救急センター

センター長 根岸 正敏

当院の救命救急センターには、平成26年5月現在7名の院内救急救命士が勤務しています。

消防救命士は現場や救急車で除細動や気管挿管、静脈路確保などの特定行為が可能ですが、救急救命士法により病院内での行為は制限を受けています。では病院内救命士には、一体何ができるのでしょうか。

そこで、当院では救命士にも新たな教育プログラムを作成し、単なる補助的な役割ではなく、国家資格を持つ救急救命士として、診療の補助、ドクター

カー内での活動など「できること」を模索し、患者救命とモチベーション維持に取り組んでいます。

5月24日にかるぽとプラザで開



▲演者の藤中 奈美 救急救命士

催された第30回日本救急医学会中国四国地方会では、藤中奈美救命士が当院での取り組みを発表し、多くの関心が寄せられ、活発な討論が行われました。これからも、近森病院での取り組みを全国に発信していきたいと考えています。 ねぎし まさとし

## 日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡技師について

# 消化器内視鏡技師 14名体制に

近森病院  
消化器内科部長 岡田 光生



このたび、北野唯、前田美奈子、徳弘将光、千頭祐一、今本隼香の5名の臨床検査技師が日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡技師の資格試験に見事に合格しました。これで14人となります。

消化器内視鏡技師の業務は端的にいうと消化器内視鏡検査・治療の介助や補助を行うことです。具体的には内視鏡検査ができるように機器の準備や設定を行い、検査時も常に患者さんのそばにいてやさしく声をかけ、処置具を速やかに用意し、実際に操作して検査や治療に参加します。内視鏡機器の洗

浄消毒や管理も行います。消化管出血や胆道感染症では内視鏡処置の緊急性が高く、夜間や休日にも緊急でよく行いますが、このような時間外にも内視鏡技師が対応しています。

臨床検査技師は、病理、細菌、生理、輸血とそれぞれに専門があり、その分野では消化器内科医より知識が豊富であり、大いに助けられています。また、明るく勤勉な人が多く、一緒に仕事をして楽しいです。技師にとっても、患者さんやその治療に直接かかわることに魅力を感じてくれているようです。

今年になり、徳弘将光君が内視鏡専属となってくれました。消化器内科医としては待望の人事です。内視鏡専属となった徳弘君はいろいろな業務改善に取り組み始めています。現在は物品の管理強化やマニュアルの改訂、新人スタッフの教育に取り組んでいます。彼の活躍に期待していますし、応援していきたいと思います。

内視鏡機器や内視鏡技術の進歩は著しく、内視鏡技師に求められる業務はますます増加しています。これからも研鑽に励んでいただきたいと思います。

また、2015年に内視鏡技師学会が大阪で開催されますが、近森オルソリハビリテーション病院の尾崎貴美看護部長が会長を務めます。当院の技師にも学会に積極的に参加していただきたいと期待しています。

おかだ みつお



▲向かって左から、今本隼香、前田美奈子、徳弘将光、筒井昌代、黒川真奈美、宮下亜矢、柳井さや佳



▲向かって左から、北野唯、櫻本浩之、永井多恵子、千頭祐一、門脇芽里、吉永詩織、橘知佐主任

# 人との出逢い、繋がり、成長



近森病院北館 HCU  
看護師 中城 実弓

近森病院で働き始めてから早いものではや一年が経ちました。最初はなんでもかもが不安で、自分の思う看護師像との違いにたくさんの驚きがありましたが、病棟の先輩方は多忙ななかでも

密に指導をしてくださり、悩みや相談ごとがあれば、真剣に話を聞いてアドバイスをくれました。

毎日忙しい業務のなかでも笑顔に溢れる病棟で、他職種と一つのチームと

## CHIKAMORI OPEN 平成 26 年度 HOSPITAL

第18回 5/10  
第19回 7/5  
第20回 10/4

13:30~16:00

看護学生および保護者  
有資格者(看護師)

※交通費は下記を上場に出版が負担します。  
\*西区内(県外).....10,000円  
\*中野区外.....15,000円  
\*東京都外.....20,000円  
\*関東圏外(沖縄).....30,000円

お申込み・お問い合わせ  
〒780-0052 高松市大川原 1-1-115  
社会福祉法人近森 看護部長室  
chikamori@chikamori.com  
088-822-5231  
http://www.chikamori.com

近森病院



### ワッペン、バッジ、広報誌あれこれ 4



小川明希さん(左)と矢野美和主任

地域生活支援センターこうちは管理棟第二別館1階にあり、在宅で生活する精神障害を持つ方々を支援している部門です。

毎月発行している「ぼっちり」では、支援センターで行っている活動の予定や報告、障害福祉サービスや精神保健福祉に関する新しい情報、利用者さんから投稿された俳句や詩などの文芸作品を掲載しています。この「ぼっちり」は利用登録をしている方や精神科の病院、就労支援事業所、公的機関などに送り、誰が見てもわかりやすい紙面になるよう気をつけながら作っています。こうした支援の場があることや、精神障害を持つ方同士が気楽に過ごせる場所があることを、これからも機関誌「ぼっちり」を通して発信できたらと思います。

やの みわ/おがわ あき

## 「ぼっちり」

地域生活支援センターこうち  
ソーシャルワーカー

主任 矢野 美和  
小川 明希



して働くなか、いろんな刺激を受けて日々学ぶことも多く、とても恵まれた環境で働かせていただいているといつも実感しています。また、業務以外にもマイナビなどで看護師確保に携わることも出来て、いろんな経験をさせていただいた一年になりました。先輩や同期、職種に関係なく素晴らしい出逢いがあり、現在も楽しく仕事できています。

働き出して間もないころ、看護は患者さん本人だけでなく、患者さんを取り巻く環境や家族など、大きな視野で見ていかなければならないと、先輩より教えていただきました。しかしそのころは実感がなく、目の前にある業務にばかり気をとられていたように思います。

ときに自分の無力さを感じることもあります。日ごろから笑顔をかかえて、先輩のように患者さんやそのご家族に寄り添う看護を提供できるように、今後もより一層意識を高く持ちたいと思っています。

なかじょう みゆ

### お弁当拝見 25 長男の中学進学を機に



近森病院外来センター  
看護師 久保 和花

今年の春から、長男が中学生になり私のお弁当作りが始まりました。今まで一度も作ったことがない私が夫の分も併せて3個のお弁当を作っています。朝は5時半に起床し30分を目標に悪戦苦闘。

育ち盛りの息子のため、肉系の内容に偏ってしまいがちですが、メタボリック体型の夫のことも少しは気を遣い、野菜もとりのりバランスの良いメニューを考えて



います。

自分のお弁当はずっと欲しかった曲げわっぱのお弁当箱を買い、見た目も重視しお弁当作りのモチベーションをあげています。曲げわっぱのお弁当箱は、適度にごはんの湿度を保ち、煮物を入れても



おいしそうに見える魔法のお弁当箱です。少々高額ですが皆さんもどうでしょうか？3人の子供がおり、末っ子は2歳のため、私のお弁当生活はこれから17年間続く予定です。

くぼ わか

## 第 133 回地域医療講演会

# 「ゲートオープナー」 としての役割を担う 総合診療専門医



近森病院救命救急センター  
総合診療科部長  
杉本 和彦



▲英国家庭医療専門医  
澤憲明先生



▲ Membership Royal College  
of General Practitioners  
Patrick Hutt 先生

## 私の趣味

## 茶道の世界

近森リハビリテーション病院  
医療相談室 伊藤 彩花



わたしはいま裏千家の茶道を習っています。高校生の頃、お茶菓子として出てくる和菓子の可愛さに惹かれ茶道部に所属していたこともありましたが、そこからはや何年……、友人の誘いで再び始め、半年が過ぎました。

「茶道」と聞くと、堅いイメージをもつ方が多いと思います。わたしも当初はそのように思っており「たった一杯のお茶を飲むためだけにこんなに時間をかけて……」と作法の細かさ、ルールに悪戦苦闘していました。

しかし今ではそれも心地よい緊張感に変わり、普段の生活とはまた違った雰囲気味わえるこの時間が、わたしにとって大切なものとなっています。今は入門の免状取得に向け、素敵な先生、教室の仲間とお稽古に励んでいます。

茶道で学ぶ人に対する気遣い、心配りが仕事や他の場面でも活かされるようにこれからも続けていきたいと思っています。あと、花嫁修業としても…(笑)

という あやか

岡山での日本プライマリ・ケア連合学会に招聘されていた英国の家庭医、澤憲明先生と、Patrick Hutt 先生に高知に来ていただいて、講演会が実現しました。

日本では3年後に専門医制度が変更になり、総合診療医が19番目の専門医として認定される予定です。

「総合診療医をゲートキーパー（門番）として使い、やみくもに医療費を抑制するのが目的なのではないか」、「重大な疾患を見逃すのではないか」、「有無を言わず一人の総合診療医にアクセスが限定されるのではないか」等々、プライマリ・ケアという概念が十分には定着していない日本では、このような猜疑的な意見に遭遇します。

しかし英国では、総合診療医は医療

サービスの案内人として患者を支援する「ゲートオープナー（門を開く人）」であり、重大な疾患を見逃さないように膨大なトレーニングを受けたプロであること、患者は診療所にいる複数の総合診療医を自由に選択でき、各地域にある複数の診療所から自分の希望に沿った診療所を選ぶことができること、などの現状をご紹介いただきました。

こうしたシステムが英国に根付き、患者さんは医療保険制度 NHS (National Health System) に対して9割以上の方が満足しており、家庭医の地位向上にも繋がっていることを知ることができました。

すぎもと かずひこ

### ワイン講座 ● 22

#### ぶどう品種を知り、個性を探る

#### 白ぶどうその④ ヴィオニエ

シャルドネ、ソーヴィニヨン・ブワン、リースリングの順序は、順当だったかと思えます。この4番目になにを挙げるか迷いましたが、知る人ぞ知る、マイナーではあるが偉大な品種。

主要な産地はフランスのローヌ地方の北部、コンドリュエやシャトー・グリエが知られていますが、あまりにも少量生産で高価なため、市場ではほとんど見かけることがありません。

しかし近年、世界のワイン生産者が注目し、栽培エリアはフランス国内に留まらず、アメリカやオーストラリアにも広がり、白ワインを代表するぶどう品種になりつつあります。

ワインの風味は、白い花や白桃、アプリコットなどのフルーツの香りに富み、アロマティックです。酸味は比較的穏やかで、

ヴィオニエ・ローレンス・ヴィンヤード/チャールズ・スミス・ワインズ/アメリカ、ワシントン州●コメント：元ロックンローラーが造り出すもの。ラベルの雰囲気と同様にモダンなスタイルですが、今すぐ楽しみ、また長期熟成させることも可能なワインです。

まろやかな舌触りで親しみやすい味わいのものが多くあります。

しかし、これらの特徴は、すべてに共通したものでなく、育った環境により異なります。なにをもって標準的な「ヴィオニエ」とするかは難しいですが、品質の良いものが多いのは事実です。レストランで探すのは難しいかもしれませんが、いちどお試しください。

鬼田知明(有限会社鬼田酒店代表)



参加：心臓血管外科入江博之部長、佐野俊和医師、麻酔科清水達彦医師

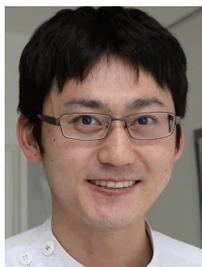
集中治療部工藤淑恵シニア看護師長、手術室中越千陽看護師、総務課広報鍵本由紀主任

出張先：ニューヨーク市：AATS Aortic symposium、カナダトロント市：AATS(米国胸部外科学会)、St. Michael 病院、SickKids 病院、フィラデルフィア市：Temple 大学病院

## AATS AorticSymposium & Annual Meeting 2014 に参加して

近森病院心臓血管外科

医師 佐野 俊和



4月24、25日、それに28、29日と、ニューヨーク、トロントで開催されたAATS(米国胸部外科学会)に参加することができました。著名な外科医も多数参加しており、演題も有名な施設の最新の情報提示や、治療ガイドライン、手技、長期にわたる成績など、たいへん勉強になる内容ばかりでした。

ニューヨークではAATS Aortic Symposiumが開催され、初日の午前中は教育的セッション、午後からは部位別(Ascending、arch)のセッションが行われました。2日目はDissection中心に行われ、大動脈解離Type A、Type Bに対するそれぞれの演者の見解がディスカッションされました。もっとも驚いたのは中国のある施設では、Dissection患者の平均年齢が46歳と非常に若いことでした。これはその施設に限られたことではなく、中国全体でも同様のことがいえるようで、演者曰く、民族の違い、生活習慣の違いもあるのだろうが、中国では治療しきれない高血圧患者が多く、それがDissection患者の多い原因となっているのではなかるとのことでした。

続いてカナダのトロントへと移動し、病院見学も挟みながら、AATS Annual Meetingにも参加しました。こちらがAATSのメインということもあり、大勢の参加者がいましたが、幸運にもTirone David先生、Michael J. Mack先生など、偉大な心臓血管外科医の先生方とお話することもできました。今回の経験を生かし、これからも日々精進していきます。

さの としかず



▲ Dr GUY ページ  
Temple 大学病院 フィラデルフィア

## 同じよう異なる 医療を垣間見て

近森病院麻酔科

医師 清水 達彦



少し前にはなりましたが、今回ニューヨーク→トロント→フィラデルフィアという13日間に渡るアメリカ研修に参加させていただき、ニューヨークではアメリカ胸部外科学会のAortic Symposium、トロントではSt. Michael 病院とSickKids®の見学、フィラデルフィアではTemple 大学病院の見学に参加させていただきました。

全体的な印象としては、やっていること自体はそれほど変わらない、もしくは結局は施設間の違いかなというのが率直な感想でしたが、制度や職種間の分業システムには大きな違いがあり、同じよう異なる医療を垣間見ることができたのは非常に有意義でした。

個人的に最も印象的だったのは、Temple 大学病院のGuy先生によるda Vinci®を用いた僧帽弁形成術(ご興味のある方は、<http://www.roboticheartsurgeon.com>をご参照下さい)でしたが、6月号で中越さんが詳しく書いていましたので、自分が普段関わる心臓麻酔について少し書かせていただきます。

当院の心臓手術では、術後の早期回復を目指すファーストトラック管理の一貫として、手術室抜管・当日リハビリが積極的に行われており、そのために麻酔薬には循環動態への影響は大きいけれども、覚醒の良くなる短時間作用性のものを使用しています。麻酔に関しては施設間・麻酔科医間の違いが比較的大きいので、一概には言えませんが、今回見学したSt. Michael 病院では、同様の短時間作用性の麻酔薬を使用しており、術後ICUでの当日抜管・当日リハビリでしたが、Temple 大学病院では、短時間作用性の麻酔薬は使用しておらず、ファーストトラック発祥の国といえども、そこまで浸透しているわけでは無いのだと感じました。

また心臓手術では人工心肺前の心臓の状態を確認したり、人工心肺後に手術した部位やその周囲組織に問題がないことの確認のために、術中経食道心エコーが行われます。



▲ 執刀医、麻酔科医、看護師、フィジシャンアシスタントが協同する手術  
Temple 大学病院 フィラデルフィア

当院では循環器内科の先生に診ていただいておりますが、St. Michael 病院では麻酔科医が術者とディスカッションできるレベルで担当しており、まだまだ研鑽を積み重ねればと痛感させられました。

しみず たつひこ

# プロフェッショナル ということについて

管理部総務課広報担当  
主任 鍵本 由紀



今回3施設を見学したのですが、皆さん異国からの外部訪問者にも優しく、「これが見たいだろう」、「あれはこういう工夫をしているのだ」と気を配っていただきました。英語理解が追い付かず無念でしたが、見学者を積極的に受け入れる対応と皆の笑顔に励まされました。

近森会では広報に関わるものだけでも年間約350名が来院されています。見学を受け入れる際には、受け入れ側の情報を相手に吸収していただくのみでなく、積極的な意見交換をすることで受け入れ側も刺激になるようにしたいと思いました。同行した中には、積極的に連絡先を交換して今後のつながりを作るスタッフもあり、こういった姿勢が人脈を作り、その場だけでない情報交換を可能にするのだと感じました。

そして、各施設ではそれぞれ日本人心臓血管外科医師に案内をしていただきました（入江先生によると手違いだったようですが）。より多くを学ぼうと海外の病院でフェローとして働く先生方は、人種や言語の壁が当然あり、色々悔しい思いをすることも多く、失敗を繰り返し、また、それら乗り越えているという強い意志が見られました。

もちろん想像はしていましたが、「言葉の壁があるうちは日本で経験があっても、なかなか認められない。1年目の研修医以下の存在。今海外勤務を考えている人は『やめておけ』と100回言われても『行く』覚悟がないなら行くべきではない」とのこと。日本人が海外で働き、一生懸命に夢を実現することの難しさについて経験を持って伝えてくれました。

病院で働くということについて、忙しいけれど誇りを持って働くこと、新たな知識と手技を習得するために新天地へ行く方々など、プロフェッショナルということについて考えさせられる研修でした。 かぎもと ゆき



▲ 医局での症例紹介。中国からの見学者とともに。スタッフも多国籍だった。St. Michael 病院, トロント

高知医療再生機構主催

## 「地域医療を考える講演会」

5月30日(金)午後6時から管理棟3階会議室で、高知医療再生機構の主催の「地域医療を考える講演会」が開催されました。

▼高知医療再生機構理事長の  
倉本秋先生

▼聖マリアンナ医科大学学長の  
三宅良彦先生



## 吉備国際大学大学院修了報告

### 大学院生活概論

一男の浪漫は  
女の涙一

近森病院総合心療センター  
デイケアメンタル

作業療法士 織田 靖史



「大学院に行く」私の無責任な思いつきにより、我が家女性陣の不幸の始まりでした。

「根拠を示せる臨床家である」という浪漫を少年のように語る私に、「偉くなって、稼ぐんやろ」と妻は考え直すきっかけをくれながらも、快く許してくれました。また、家族が寝静まってから勉強する私に、娘は寝室の襖を勢い良く締めながら「母ちゃんと寝るき、こっち来んといて!」と。娘の心遣いになぜか涙が止まりませんでした。他にも、学費が家計を圧迫し、妻が家庭菜園の本を読む、そんな夜もありました。

論文執筆していた正月は、妻子を実家に帰し、ずっとパソコンとにらめっこ。褥瘡のでき方が理解できました。妻と子ども、私との別行動がさぞ寂しかったのか、実家から帰るとずっと私に話していました。実家での楽しいエピソードを満面の笑みで…。

最後にいちばん伝えたい「感謝」の気持ち。我儘な大学院生活。修了できたのは、研究協力者の皆様、温かく見守り手厚くサポートいただいた職場の皆様、優しく導いてくださった研究室の皆様、そして最愛の家族のおかげです。エピソードは尽きませんが紙面が尽きてきました。研究の紹介もしたかった(そっちが本論?)のですが、ここで筆を置きたいと思います。が、しかし……、調子に乗った私は、今、博士課程に在籍中です。ので、今後ともご支援をお願い致します！ おりた やすし

# 「研修医奨励賞ダブル受賞報告！」

第 110 回日本内科学会四国地方会

「僧帽弁形成術後 7 年目に僧帽弁逆流症の増悪とともに溶血性貧血を来した 1 例」

第 101 回日本消化器病学会四国支部例会

「上腸間膜動脈閉塞症の 3 例 ～早期診断が命を救う～」

初期研修医 中村 大輔

「日本内科学会」と「日本消化器病学会」の両学会で、研修医奨励賞を受賞できたのは内科・外科の先生方やコメディカルの皆さん、研修医仲間などの近森病院の素晴らしい環境と、家族の理解のおかげです。ありがとうございました。

内科学会の発表症例は初診から関わり、自分が思い付かないような所見を上級医が評価し、考察したのを目の当

りにし、改めて凄さを実感した症例でした。

消化器病学会の症例は早期診断早期治療が大切であるという当たり前のことを訴えた症例でした。いずれの発表も背伸びせず素直に思いを伝えたことが評価されたのではと思います。

これからも臨床面だけでなく、学術面においても積極的に取り組んでいこうと思っています。研修期間も残りわ



▲賞状をもつ中村大輔研修医

ずかとなってきましたが、よろしくお願ひします。

なかむら だいすけ

## 2015 年度 看護師採用試験

日時 7月26日、11月1日、  
2015年2月21日  
(いずれも土曜日9時から)  
会場 近森病院管理棟3階  
応募 履歴書(様式不問)は1週間前までに郵送していただくか、ご持参ください。  
募集 60名程度(増床のため)  
問い合わせ先 088-822-5231  
看護部長室秘書 松元まで  
※ 詳細は近森会グループのWebサイトに掲載しています。



近森会グループ  
看護師採用試験

2015年度

必要事項  
履歴書を試験日の1週間前までに郵送またはご持参ください。  
提出先 〒780-8522  
高知市大川町1丁目1-16  
近森病院 看護部長室まで  
代表電話: 088-822-5231  
http://chikamori.co.jp/kango/

※ 中途採用希望の方は、お手数ですが近森病院 看護部長室までご連絡ください。

### お知らせ

- 第 136 回地域医療講演会 医療従事者対象  
「下肢装具療養について  
～脳卒中を中心に～」  
講師 京都府リハビリテーション教育センター医師 沢田光思郎先生  
かがわ総合リハビリテーション病院  
病院長 木下篤先生  
日時 7月11日(金) 17:30～  
会場 近森リハビリテーション病院  
5階PT室
- 第 17 回公開県民講座  
「知ってほしい、新しい近森病院」

- 講師 救命救急センター  
センター長 根岸正敏  
脳神経外科 部長 高橋 潔  
心血管外科 部長 入江博之  
日時 7月21日(月/祝)  
14:00～16:00  
会場 かるぽーと大ホール
- 第 137 回地域医療講演会 医療従事者対象  
「日米の MRSA 治療の誤り：  
適正治療と安全管理」  
講師 大阪大学大学院医学系研究科  
招聘教授 浅利誠志先生  
日時 7月22日(火) 17:30～19:00  
会場 近森病院管理棟3階大会議室

## 近森病院 第 17 回公開県民講座を開催

7月31日の新本館A棟の完成を迎えて、「知ってほしい新しい近森病院」と題して公開県民講座が「かるぽーと大ホール」で7月

21日(月・祝)に開催されます。入場は無料です。

お問い合わせ先: 088-822-5231  
総務課広報まで

近森病院 第17回公開県民講座

知ってほしい 参加無料  
新しい近森病院

日時 2014年7月21日(月・祝)  
14:00～16:00(開場13:30)

会場 かるぽーと大ホール



近森救命救急センターの役割  
救命救急センター センター長  
根岸 正敏



SCU(脳卒中ケアユニット)とtPA治療  
脳神経外科 部長  
高橋 潔



スーパーICUとハイブリット手術室  
心血管外科 部長  
入江 博之



後援: 高知県医師会、高知市医師会

# スタミナ源は「近森愛」



## きっかけは、近森会のチーム医療

周りからどんな風に見られたいか。飄々とした正康科長には、いちばん縁のない発想かも知れないが、『ひろっぴ』のためにと、このさい考えてもらった。すると、「近森病院をいちばん好きなのは近森科長よね！と言われたい」と即答された。

都内の大学病院で勤めていた科長が、週にいちど内視鏡検査と一般外来診察のために近森病院に就職したのは7年前。2年を経た2009年、フルタイムで勤めるきっかけになったのは「近森会のチーム医療に感動した！」からだった。

近森愛と近森チーム医療は科長のなかでは実は繋がっているのかも知れない。それまでも大学病院でチーム医療を経験してきたつもりだったが、自身の認識の甘さに気づかされ、高知での得るものの大きさに思いを馳せた、ということなのだろう。いずれにしろ、スタミナ源がこの辺りにあることは間違いない。

## 近森家嫡男の習い性

毎日を振り返れば、「結果オーライ」でやってきた印象が強いそうだが、周りのスタッフの「飄々として掴みどころがない」という正康科長評は、この辺りの頓着のなさやだらかさに由来するのかも知れない。そういえば小学校の通信簿にも「飄々」と担任の先生に書かれたらしいから、この在りようは

筋金入りともいえる。

周りに気を遣われていることが分かった、却って息苦しい！と感じる部分もあるようだ。確かに…、スラッと男前で、しかも近森家の嫡男で…という身の上は、それだけでどこかに近寄りがたいオーラを発してしまう。

だからというわけかどうか、「大した用もないのに(笑)」、時間ができたら、地域医療連携室や相談室、ERその他あちこち顔を出している。自分から気さくに敷居を低く…が、いつの間にか習い性となっているようでもある。科長が段取りや調整、根回しに気を遣っているように見るスタッフがいるのも頷ける。

小さい頃から帝王学を叩き込まれ…とまではいかなくても、いったいどんな環境で育ったのだろうと興味は尽きない。県外へ家族旅行に行っていて、病院の呼び出しで父親だけが途中で抜け、そんなとき決まって母親は、「お父さんエライよね〜」「いま思えば刷り込み(笑)だったかも知れない」と科長は笑っているが、難しい舵取りを迫られる父親の背中を日々眺めることは、嫡男の道筋を決める大きな要素になったに違いない。自分の将来について家族で話した記憶はないそうだが、あまりに既定路線すぎて、いまさら意思を確認し合う必要もなかったのだろう。

## 近森会の原点を、改めて

フルで勤め始めたとき、救急の現場の何たるかを見せられ、24時間、365日、どんな状態の患者さんであっても受け容れるという近森会の姿勢を、身を以て経験した。「近森で診なかったら、この患者さんは他では診てもらえない、だからここで、というスタッフの気概を感じた」のだ。これは、救命救急センターの役割を担うようになった今日でも、変わらぬ近森会の原点であり、こんなことをいつも若いドクターと話しているという。

だからといって、最初に覚えた自分の感動を周りに伝えたいという思いが

▼小さな会を作る声かけ名人。これは内科若手の先生方で作っている「3会」で



強過ぎたり、思いを出し過ぎたりすると、「却って鬱陶しいだろうし…。ん〜空気読み過ぎかもね、ボク(笑)」。

## 趣味は遍路と猫動画……!?

ところで、アイスホッケーの趣味を機会さえあれば復活させたいということと、日本酒が好きということ以外、あまりプライベートな部分を出さない正康科長だが、ホントは「お遍路に行ってるんですよ〜」とか、「猫動画を観るのが好きで…」とか、実は、さりげない癒しのときが持てるように心がけている……のかというところ。

「冗談ですよ！ お遍路にボクが行くと思いますか！」「猫動画をじっと眺めていると思いますか〜」と、オフの話はやっぱり霧に包まれたままだった。さてさて真相は……。

## 始めよう★ PSへの一歩 挨拶の持つパワー

障害者相談支援センターちかもり

ソーシャルワーカー 三浦 有華



私は地域で生活している主に身体障害を持たれている方に係る部署に所属しているため、他の病院や施設に出向くことが多いです。

先日利用者で見学に行った施設は、職員誰もが「こんにちは」と、明るい笑顔と声で迎えてくれました。その瞬手を止めて、こちらをきちんと向いて、挨拶を

してくれました。

利用者も雰囲気が良いと気に入り、利用を決められました。たかが、挨拶ですが、されど挨拶です。近森会も今以上に素敵な挨拶が行きかう場所にしていきたいですね。 みうら ゆか

おめでとう

## 編集室通信

「ひろっぱ」の創刊よりこの7月号でちょうど28年が経過した。その間、近森会グループは20回以上の建築を伴う変革、変身を遂げてきた。

まさしく時代とともに自由闊達、縦横無尽に歩んで（走って？）きたといえる。8月の新本館の完成に続いて旧棟の改修工事を経て、いよいよ12月からは512床の高度急性期病院がスタートする。

来年は新リハビリテーション病院の完成に加え、オルソリハ病院の引越し、看護教育のスタートなど、まだまだ止まることを知らない。来るべき大変な時代を迎えるためにも……。

か・え・る

## 図書室便り (2014年5月受入分)

- 心臓外科医が描いた正しい心臓解剖図：透視図→心カテ：断面図→心エコー：見たいところが見える：心臓の立体構造を細密画で理解する／末次文祥
- 実践・輸血マニュアル：自己血輸血から輸血療法全般の理解を求めて／脇本信博（編著）
- 病院感染対策ガイドライン／国公立大学附属病院感染対策協議会（編）
- ICU感染防止ガイドライン／国立大学病院集中治療部協議会ICU感染制御CPG改訂委員会（編）
- 調剤指針 第13改訂／日本薬剤師会（編）
- 保険薬事典 plus+：適応・用法付薬効別薬価基準平成26年4月版／薬業研究会（編）
- 職場を活性化！離職を防ぐ！実践的アプローチ27：新人・中途・中堅看護師育成／日総研グループ（編）

- がん入院・外来化学療法ポートフォリオ：がん研究開発費石川班 DPC 調査データに基づく／石川ベンジャミン光一（他編）
- 《別冊・増刊号》
- 透析ケア 2014年夏季増刊 透析ケア力超強化ドリル 252／伊東稔（編）
- 泌尿器ケア 2014年夏季増刊 患者さんへの説明にそのまま使える！オールカラー！泌尿器科手術のすべて／野々村祝夫（監修）
- 呼吸器ケア 2014年夏季増刊 呼吸器ケアの「なぜ？」がわかる黄金解説 解剖生理から呼吸不全病態まで43問ななめヨミ！／尾崎孝平（編著）
- 臨床栄養 別冊 栄養指導・管理のためのスキルアップシリーズ Vol.1 糖尿病の最新食事療法のなぜ??に答える 基礎編／本田佳子（他編）

## 2014年5月の診療数 システム管理室

<b>近森会グループ</b>	
外来患者数	17,500人
新入院患者数	811人
退院患者数	843人
<b>近森病院（急性期）</b>	
平均在院日数	14.45日
地域医療支援病院紹介率	61.33%
地域医療支援病院逆紹介率	139.78%
救急車搬入件数	430件
うち入院件数	215件
手術件数	377件
うち手術室実施	266件
→うち全身麻酔件数	159件

●平成26年5月 県外出張件数 61件 延べ人数 113人